



ウレタン樹脂塗料

F☆☆☆☆
ホルムアルデヒド登録認定商品

ウレオール600

■ 特長

- ①速乾性
- ②可撓性と付着性にすぐれ、ステンレス・アルミニウム合金・FRP などにも使用可能
- ③耐アルカリ性にすぐれ、コンクリート・スレートにも使用可能

■ 用途

プラスチック製品 (ABS・FRP など)・各種建材 (亜鉛鉄板・アルミニウム・ステンレス・スレートなど)・ガラス・車両・機械製品・合板・木工製品・リシン・マステックなど

■ 容量

16kgセット (主剤 14.4kg N-2硬化剤 1.6kg)
4kgセット (主剤 3.6kg N-2硬化剤 0.4kg)

■ 標準塗付量

エアスプレー塗り 0.15kg/m²
はけ塗り 0.12kg/m²

■ 希釈率

エアスプレー塗り 40~50%
はけ塗り 20~30%

■ ポットライフ

8時間以内 (20℃)

■ 塗料性状 (白)

密度 (g/cm ³ /23℃)	混合物 1.20 (主剤 1.23 硬化剤 1.00)	
加熱残分 (%)	混合物 56.5 (主剤 58 硬化剤 43)	
引火点 (℃)	主剤 15	硬化剤 9
発火点 (℃)	主剤 432	硬化剤 427
危険物区分	主剤 第四類第一石油類	硬化剤 第四類第一石油類
有機溶剤区分	主剤 第二種有機溶剤等	硬化剤 第二種有機溶剤等
有害物表示	主剤 キシレン・トルエン・酢酸イソブチル・酢酸ブチル・エチルベンゼン	硬化剤 キシレン・エチルベンゼン・酢酸エチル・イソシアネート

■ 乾燥時間

	5℃	20℃	30℃
指触乾燥(分)	20	5	3
半硬化乾燥(時間)	4	2	1
塗装間隔(時間)	24	6	4

■ 適応シンナー

ウレオールシンナー	目安	容量	蒸発速度
No.1	冬用	16L	速い
No.2			
No.3	春秋用		標準
No.4			
No.5			
No.6	夏用		遅い

■ 試験成績表 (白)

項目	試験条件	結果
鏡面光沢度 (60度)	80以上	90
耐衝撃性 (落球式)	500mmの高さから500gのおもりを落とした時、おもりの衝撃で塗膜に割れ、はがれが出来ないこと	合格
引っかき値	JIS K 5600-5-4 鉛筆法	H
付着性	JIS K 5600-5-6 クロスカット法	分類0
耐屈曲性	JIS K 5600-5-1 円筒形マンドレル法	2mm
耐アルカリ性	20℃5%水酸化ナトリウム水溶液に10日間浸したとき、異常がないこと	合格
耐酸性	20℃5%硫酸溶液に1ヶ月浸したとき、異常がないこと	合格
耐水性	20℃水道水に1ヶ月浸したとき、異常がないこと	合格
耐ガソリン性	20℃レギュラーガソリンに7時間浸したとき、異常がないこと	合格
耐候性	キセノンランプ1000時間照射で異常がないこと	合格

■ 塗装仕様書 (アルミ板に塗装する場合)

工程	塗料名	塗装方法	希釈率 (質量%)	塗付量 (kg/m ²)	乾燥膜厚 (μm)	塗装間隔 (時間以上)	
1	素地調整	脱脂して、錆・油分・水分・ほこりなどの異物のない清浄な面にする。					
2	下塗り	ビクロンウオッシュ プライマー 主剤8:硬化剤2 ポットライフ 16 時間	はけ・ローラー エアレスプレー	10~30 50~80 (専用シンナー)	0.08 0.10	5	2 (6日以内)
3	上塗り	ウレオール600 主剤9:硬化剤1 ポットライフ 8 時間	はけ・ローラー エアレスプレー	20~30 40~50 (専用シンナー)	0.12 0.15	25	—

■ 塗装仕様書 (ガラスに塗装する場合)

工程	塗料名	塗装方法	塗付量 (kg/m ²)	乾燥膜厚 (μm)	塗装間隔	
1	素地調整	被塗面の汚れや水分を除去する。				
2	上塗り	ウレオール600 90 硬化剤 10 付着性向上剤 僅少 ウレオールシンナー 25	塗装粘度 35 秒/ 岩田カップ フローコーター	0.25	60	1晩放置 または 80°C30 分焼付け

付着性向上剤は、主剤に加え均一に攪拌してから硬化剤を加える。

■ 塗装仕様書 (鉄部塗装の場合)

工程	塗料名	塗装方法	希釈率 (質量%)	塗付量 (kg/m ²)	乾燥膜厚 (μm)	塗装間隔 (時間以上)	
1	素地調整	脱脂してショットプラストを行い、錆・油分・水分・ほこりなどの異物のない清浄な面にする。					
2	下塗り	エトン2100HB プライマー 主剤 10:硬化剤3 ポットライフ8時間	エアレスプレー	5~10 (専用シンナー)	0.29	80	24 (15日以内)
3	上塗り	ウレオール600 主剤9:硬化剤1 ポットライフ8時間	はけ・ローラー エアレスプレー	20~30 40~50 (専用シンナー)	0.12 0.15	25	—

取扱い及び保管上の注意

密閉された場所での作業は、十分な局所排気装置をつけ適切な保護具を着用して行ってください。取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。よくフタをし、40°C以下で子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。缶の持ち運びの際には、手環はグリップ部を正しく持ち、垂直に持ち上げる様に取り扱ってください。容器を切って使用する場合は、手を切る恐れがありますので保護手袋などを使用してください。本来の用途以外には使用しないでください。塗装缶はよく振った後開缶し、所定の混合比率で調合したのち十分に攪拌してご使用ください。硬化剤を混入したものは、ポットライフ内に使い切ってください。硬化剤は水分と反応しますので、使用時以外は密封して冷暗所に保存にし、水分の混入は絶対に避けてください。特に、梅雨時など多湿の場合は注意してください。

緊急時及び応急処置

容器からこぼれた場合には、砂などを散布した後処理してください。また、容器などに付着した塗料はウエスなどで拭き取り、破棄してください。皮膚に付着した場合は、多量の石けん水で洗い落とし、痛みや外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。蒸気・ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。目に入った場合は、多量の水で洗い、また誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。火災時には、炭酸ガス・泡・粉末消火器を用いてください。

廃棄上の注意

廃塗料・塗料カス・廃溶剤・容器などの廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」などの定めに従った処理業者に委託してください。

詳細な内容が必要なときは、安全データシート(SDS)をご覧ください。

川上塗料株式会社

特約店



本社	〒661-0001	尼崎市塚口本町二丁目41番1号	06-6421-6325(代)
営業所	仙台	024-959-4777	北日本 024-959-4777(代)
	東京	03-5661-1501(代)	金沢 076-231-1907
	浜松	053-450-4370	大阪 06-6421-6363(代)
	名古屋	052-501-8211(代)	広島 082-293-6868(代)
	九州	092-541-3461(代)	

ホームページアドレス

<http://www.kawakami-paint.co.jp/>

1610.G.1.S